

まん・え・ほん

はじめに

わたしとあそんで



マリー・ホル・エツル
よだじゅんち

絵本の中には、直接的に、直接的に、自然観察のヒントに
なったり、観察会をより豊かにしてくれるようなすばらしいものが
たくさんあります。

例えば、マリー・ホル・エツルの『わたしとあそんで』という本。
小さな女の子が遊びに行った原っぱで、次々にたくさんのおも
いに出会います。女の子は彼らと友達になりたて積極的に
手を出したり、近づいたり、追いかけてりするのですが、いきもの

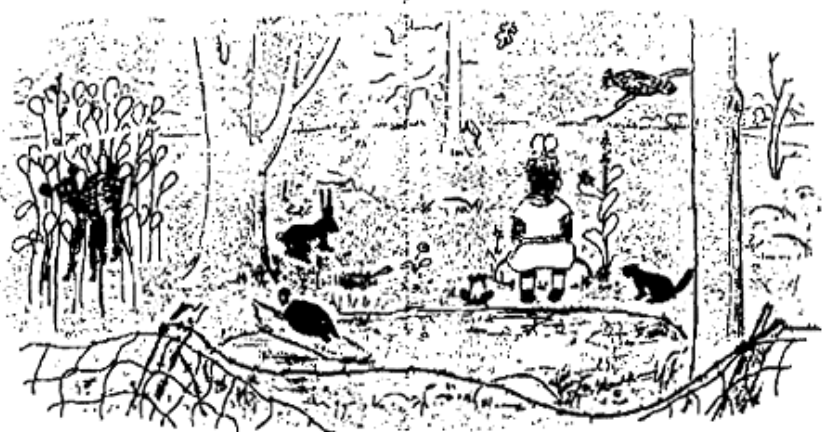
(1968年発行 福音館書店 ¥800) 本々 たちはみんな逃げ去り、女の子はしょぼりして池のほとり
に隠れていました。女の子がじっとしていると、そこへさき

逃げ去ったいきものたちが、今度はおなかから次々と出てきました。

お友達と手れた女の子の喜びがこちらに伝わってきて、嬉しくなります。

私自身も、森の中で一人で静かに座っている時、鳥がおなかから(ドドキ
するほど)近くによってきてくれたことがあります。

このような じが
わくわくするおは
いきものたち(命)と
ふれあいを観察会を
できいば、いいなあ...と
この本を読むたびに
思います。



OTL SCOTTY DOLLS ATOM. ALY-OR
HUMILLO. AUSAU TAM OLLOO AND.
PUTS SCOTTYLLO.

OTL SCOTTY DOLLS ATOM. ALY-OR
HUMILLO. AUSAU TAM OLLOO AND.
PUTS SCOTTYLLO.

かぜはどこへいくの



(1981年
偕成社 ¥920^{本体})

小さな子ども達と自然の中を歩いていると、

「なぜ? どうして?」という疑問の雨を浴びせられて、
困ってしまうことがあります。

そこで、思わず『なぜ? の大図鑑』に頼ってしまい
ようだが、その前に二本を読んどいて下さい。

シャロット・ゾロウの『かぜはどこへいくの』という本です。

これは、小さな男の子がお母さんに「かぜはどこへいくの?」
から始まって、様々なあずかい、質問をします。

その度に、そのお母さんの返す答えがすばらしいといえ
ら、感動してしまいます。時に哲学的に、時に科学的に、更に子どもが
わかりやすいように的確な答えが返ってきます。私もいつかこんな風に答え
られる母親に、その指導員になりたいとつくづく思います。

本に出てくる男の子の質問は次のとおりです。

「どうしてひるはおしおいになるの?」、「山はどのくらい高いの?」、「
たんぽぽのふわりはあそびとんでいてどこへいくの?」、「あめがやんだら
ふたあそびはどこへいくの?」

「ふゆのおわりは?」

— 答えられませんか?

答えに困ってしまった方は
どうぞ二本を一度読ん
でみて下さい。

